

11月に入って、すっかり寒くなりました。山のほうは少しずつ紅葉してきています。大根やカキなど冬の食材が出回り始めました。

＜平家物語と香川＞

皆さんは今年の大河ドラマ「平清盛」をご覧になっていませんか？

香川には物語の舞台となった地が数多くあります。

保元の乱で敗北した崇徳上皇は、讃岐国（香川）に流されました。上皇は、京に戻りたいと切に願いながらも叶わず、讃岐の地で亡くなりました。坂出市には上皇のお墓「白峯御陵」や上皇ゆかりのお寺「白峯寺」（四国霊場第81番札所）があります。

アートの島として有名な「直島」も上皇と関わりの深い土地です。上皇が島民の素直さを讃えて直島という名がついた、とも言われています。上皇が琴を弾き、和歌を詠んだと伝えられる「琴弾地」があります。

高松市の屋島は源平合戦「屋島の戦い」が行われた古戦場として知られています。

「平家物語」の名場面「扇的」の舞台でもあります。美しい夕日を背景に描かれる有名な場面です。

那須与一は海に馬を乗り入ると、弓を構えて矢を放った。矢は見事に扇を射抜いた。

扇は空を舞い上がり、しばらく春風に踊りながらさっと海に落ちた。

清盛、義経など有名な歴史上の人物たちが、この地で戦いをしていたということに驚きと、香川の歴史の深さを感じます。



庵治港から見た屋島



屋島から見た瀬戸内海

しっぽくうどんとうちこみうどん

寒くなってくると、体が温まるものが食べたくくなりますよね。

うどんやさんのメニューで「しっぽくうどん」が始まりました。

しっぽくうどんは、大根や人参、油揚げなどを煮込んだ醤油仕立ての汁をかけて食べるうどんです。年越しそばの代わりに食べることもあるそうです。

うちこみうどんは、季節の野菜や肉・油揚げなどをうどんと一緒に煮込んだ味噌仕立てのうどんです。

シンプルなうどんが多い香川では、具たくさんうどんは珍しい存在かもしれません。